

再び戦争を起こさないために



千代田区

# 平和(戦跡)マップ

## 国際平和都市千代田区宣言

地球は 生命が息づく かけがえない星  
この地球を 平和と希望にみちた  
輝く星にしよう

過去 私たちは 戦争を経験した  
多くの人びとが傷つき 犠牲となった  
二度と戦争が起こることのないように  
かたく誓い いつまでも 後世に伝えていこう

現在 世界の各地で まだ争いがある  
飢えて 苦しんでいる人びとがいる  
地球環境の破壊が つづいている

今はもう自分たちだけの平和と安全を  
考える時代ではない

国際都市千代田区に住み 働き 学ぶ私たちは  
世界の人びとと 連帯して 核兵器をなくし  
平和な世界を築きあげよう

未来に向かって 世界の人びとと 友好を深め  
同じ地球の仲間として お互いを理解しあおう

私たちは 世界の恒久平和を 実現するために  
積極的に 行動することを  
ここに宣言する

平成7年3月15日 千代田区

発行年月:平成19年8月  
改訂:令和8年3月  
発行:千代田区地域振興部国際平和・男女平等人権課  
千代田区九段南1-2-1  
TEL:03-3264-2111(代表)  
協力:千代田区地域振興部文化振興課文化財係

千代田区は平成7年3月、戦後50年の節目に「国際平和都市千代田区宣言」を発表しました。この宣言は、過去の戦争を二度と繰り返さないことを、さらに世界の恒久平和を実現するために自ら積極的に行動しようと堅く誓っています。その主旨にのっとり、区内に残る戦争に関連のあった施設・史跡等を紹介した「千代田区平和(戦跡)マップ」を作成しました。過去の悲惨な戦争体験を風化させないために、一人でも多くの方にこの平和マップをご利用いただき、平和の大切さを考えていただけたら幸いです。

千代田区

### 千代田区平和祈念モニュメント(表紙)

「国際平和都市千代田区宣言」を永続的に記念し、その精神を広く訴えるため、平成9年3月「平和祈念モニュメント」を設置しました(千代田区役所前に設置されています)。

平和(戦跡)マップはこちら



## 1 江戸城大手門の鯨

江戸城大手門をくぐった先に展示されている銅製の鯨は、かつて大手門渡櫓の上に取り付けられていたものです。門は、明暦3年(1657)の大火後に再建された貴重な歴史的建造物でしたが、昭和20年(1945)4月の空襲により焼失してしまいました。



メモ

## 2 明治生命館

昭和9年(1934)竣工の明治生命館も、終戦後の昭和20年(1945)9月から31年(1956)7月までの約11年にわたり接収され、アメリカ極東空軍司令部(FEAF)として利用されました。2階には、対日理事会の会場となった会議室などが保存され、当時の様子をとどめています。



## 3 第一生命館

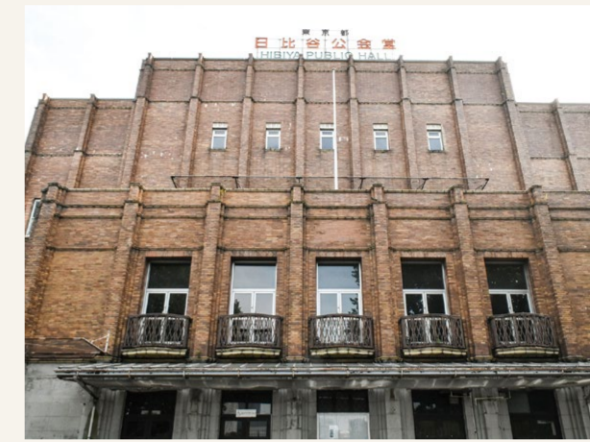
昭和13年(1938)に建てられた第一生命館は、終戦後の昭和20年(1945)9月から27年(1952)7月までの約7年間、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)に統治されました。6階がダグラス・マッカーサー元帥のオフィスとして利用され、現在もそのままに保存されています。



バーチャルビュー

## 4 日比谷公会堂・市政会館(日比谷公園)

昭和4年(1929)、市政調査のための会館とともに、日本初の本格的なコンサートホールとして誕生しました。設計者は早稲田大学大隈記念講堂の設計で知られる建築家の佐藤一です。太平洋戦争中には、国威発揚のための国民大会の場や空襲被害者の収容所としても利用されました。



## 5 海軍省跡・軍令部跡碑

厚生労働省の周辺には、戦前、海軍省・軍令部がありました。昭和20年(1945)11月に廃止されましたが、イギリスの建築家ジョサイア・コンドルの設計によるレンガ造りの建物は一部使用され続けました。昭和60年(1985)に建物が完全撤去となり、跡地に中曽根康弘元首相の揮毫による記念碑が設置されました。



メモ

## 6 日本水準原点

国会前庭洋式公園には、明治以降終戦まで、陸軍省や参謀本部が置かれていました。敷地内には、陸軍参謀本部陸地測量部により明治24年(1891)、国土測量の基準点として「日本水準原点」が設置されました。現在は国の重要文化財に指定されています。



## 7 平河天満宮

菅原道真を祭神とする平河天満宮は、太田道灌が江戸城内に勧請したという由来をもつ神社です。弘化元年(1844)に麹町周辺の人々から奉納された入口の銅鳥居には、空襲の機銃掃射による丸い弾痕が見られ、戦争の爪痕が残っています。



## 8 千鳥ヶ淵戦没者墓苑

昭和34年(1959)にできた千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、先の大戦において海外で亡くなった軍人、軍属及び一般邦人のうち、身元不明等の理由により遺族へ引き渡せなかった遺骨を埋葬した、いわゆる「無名戦没者の墓」です。



## 9 高射砲の台座 (千鳥ヶ淵の土手上)

太平洋戦争中に皇居の防衛を目的に設置された「九八式高射機関砲」の7基の台座です。中央に穴があり、軸を据えることで360度方向の射撃が可能でした。敵戦闘機が飛来した際に応戦しましたが、B29戦闘機など高度から迫る相手は防ぐことができませんでした。



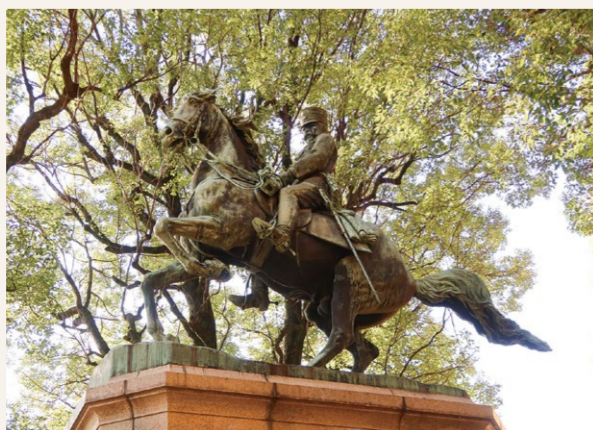
## 10 旧近衛師団司令部庁舎

近衛師団は、天皇と宮城を守るために設置されました。この司令部庁舎は、明治43年(1910)に陸軍技師田村鎮たむら ちかの設計で完成しました。太平洋戦争末期の「終戦の詔勅」をめぐる宮城事件みやぎじけんの舞台でもあります。現在は国の重要文化財に指定されています。



## 11 北白川宮能久像 (北の丸公園)

北白川宮能久(1847-95)は、明治時代に近衛師団長を務めた人物です。台湾出征中、マラリアにかかり亡くなりました。銅像は新海竹太郎の制作で、明治36年(1903)に近衛歩兵第一・第二連隊正門に設置されました。戦後、公園整備に伴い、現在地に移されました。



## 12 近衛歩兵連隊の記念碑 (北の丸公園)

戦前の北の丸公園内には、明治7年(1872)に皇室警護のために創設された近衛歩兵第一連隊・第二連隊の施設が置かれました。連隊は、同24年に騎兵などが統合されて近衛師団となり、太平洋戦争では戦地へ派遣されました。現在その跡地には、碑が残されています。



## 13 大山巖像 (九段坂公園)

陸軍大臣を務めた大山巖(1842-1916)の銅像は、元々陸軍参謀本部部門に設置されていました。制作は近代日本を代表する彫刻家の新海竹太郎です。国民からの崇敬を集めたこともあり、戦時中の金属回収や戦後のGHQの撤去をのがれ、今に残る貴重な銅像です。



## 14 靖国神社

明治2年(1869)、明治天皇により戊辰戦争の戦死者を祀るため創建されました。はじめは東京招魂社と呼ばれましたが、明治12年(1879)より靖国神社と改称されました。明治10年(1877)の西南戦争後は、外国との戦争の戦没者も祀りました。軍人だけでなく橋本左内、吉田松陰や従軍看護婦、沈没した疎開船対馬丸の児童も含まれます。春・秋には例大祭、7月にはみたままつりなどがおこなわれます。



## 15 九段会館テラス (旧九段会館)

現役軍人を退いた在郷軍人会のために、昭和9年(1934)に建てられました。洋式の建築に日本の城のような和風の屋根を乗せた帝冠様式といわれる和洋折衷の建物でした。戦後は連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)に接收され、「アーミーホール」と呼ばれ、進駐軍の宿舎として使用されました。



## 16 愛国婦人会発祥の地の石碑 (かがやきプラザ裏手側)

「愛国婦人会」は、北清事変の慰問団に参加した奥村五百子(1845-1907)が、明治34年(1901)に創設、日露戦争以降の軍人慰問や遺族支援などの活動を担いました。本部のあったこの地には、奥村の銅像もありましたが、現在は石碑のみとなっています。



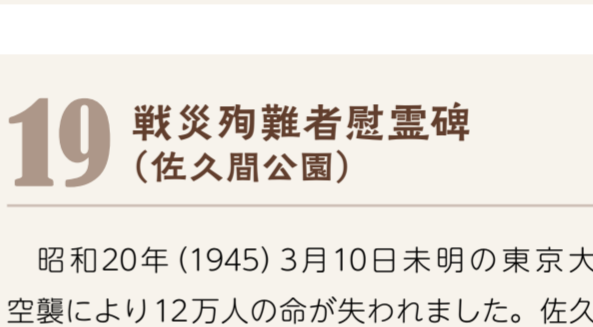
## 17 五十稻荷神社

昭和20年(1945)2月25日の空襲で、五十稻荷神社も被害を受け全焼しました。鳥居をくぐって右側にある大銀杏の木も被災し、下から15cm程度を残し黒焦げとなりました。被災した銀杏の木でしたが、再び芽吹き、現在は大木へと戻っています。



## 18 神田神社

旧神田区民が出征する際、神田神社で武運長久を祈念して決起集会を開きました。戦時中は、神社も空襲の被害を受けましたが、関東大震災後に鉄骨鉄筋コンクリート造にした本殿のみ焼け残りました。男坂の階段脇の銀杏も焼失しましたが、現在は復活しています。



## 19 戦災殉難者慰霊碑 (佐久間公園)

昭和20年(1945)3月10日未明の東京大空襲により12万人の命が失われました。佐久間町周辺地域でも、たくさんの犠牲者が出ました。犠牲者の冥福を祈り、秋葉原地区の10町会と神田川米穀市場組合が、13回忌に当たる昭和32年(1957)3月に慰霊碑を設置しました。



メモ

## 20 東京駅

大正3年(1914)に開業した東京駅は、太平洋戦争中、鉄道は軍事物資輸送に利用されました。そのため、攻撃の対象となり、昭和19年(1944)以降度々被害が発生し、昭和20年(1945)5月25日の空襲では、3階部分が焼失し、当時の象徴だった丸形ドームが失われました。



### 千代田区にある平和学習ができる博物館と資料館、図書館の紹介

国立公文書館 (五十音順)

国立公文書館 (休館日: 日、祝 (展示会開催中は展示室開室)、月) TEL: 03-3214-0621

アクセス: 東西線 竹橋駅 1a、1b 出口下車、徒歩5分



しょうけい館 (休館日: 月) TEL: 03-3234-7821

アクセス: 東西・新宿・半蔵門線 九段下駅 7番出口下車、徒歩3分、5番出口下車、徒歩5分

\* 戦傷病者とその家族等が体験した労苦を伝える



昭和館 (休館日: 月) TEL: 03-3222-2577

アクセス: 東西・新宿・半蔵門線 九段下駅 4番出口下車、徒歩1分

\* 戦争の記憶を継承し、戦中・戦後の国民生活の労苦を次世代に伝える



千代田図書館 (休館日: 第4日曜日) TEL: 03-5211-4289

アクセス: 東西・新宿・半蔵門線 九段下駅 6番出口下車、徒歩3分 (千代田区役所9階、10階)



東京国立近代美術館 (休館日: 月) TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

アクセス: 東西線 竹橋駅 1b 出口下車、徒歩5分

\* 「戦争画」が戦後米国より返還、展示されている



日比谷図書文化館 (休館日: 第3日曜日) TEL: 03-3502-3340

アクセス: 千代田・丸の内・日比谷線 霞が関駅下車、徒歩5分 都営三田線内幸町駅下車、徒歩5分



靖国神社 遊就館 (休館日: 無休、6・12月に臨時休) TEL: 03-3261-8326

アクセス: 東西・新宿・半蔵門線 九段下駅 1番出口下車、徒歩5分

\* 明治15年我が国最初の軍事博物館

